

高等研究院アカデミー発足と新メンバー

高等研究院は、名古屋大学インターナショナル・アドバイザリー・ボード（国際諮問委員会）からの提言をもとに、新たに学内アカデミーとして機能し、優れた研究成果を学内外に紹介していくことを基本方針として掲げています。その中心となる高等研究院アカデミーが、この度、発足しました。

高等研究院アカデミーは、名古屋大学の誇る研究者から組織され、高等研究院の学術活動について助言・提言を行い、名古屋大学の学術の振興に寄与するとともに、若手研究者、大学院生などに研究の真髄を伝える役割を担っていただきます。

高等研究院アカデミー会員は、以下の7名です。

赤崎 勇

2004年 文化功労者顕彰

名古屋大学特別教授

青色発光ダイオードの発明

飯島 澄男

2003年 文化功労者顕彰

名古屋大学特別招へい教授

カーボンナノチューブの発見

小林 誠

2008年 ノーベル物理学賞受賞

名古屋大学特別招へい教授

第5、第6のクォークに関わる
「小林・益川理論」の提唱

佐藤 彰一

2002年 日本学士院賞受賞

大学院文学研究科教授

テキスト科学の創始

下村 脩

2008年 ノーベル化学賞受賞

名古屋大学特別招へい教授

緑色蛍光タンパク質（GFP）の発見

野依 良治

2001年 ノーベル化学賞受賞

名古屋大学特別教授

不斉合成法の確立

益川 敏英

2008年 ノーベル物理学賞受賞

名古屋大学特別招へい教授

第5、第6のクォークに関わる
「小林・益川理論」の提唱

（五十音順）

世界的に著名な先生方に助言をいただくことで、高等研究院のさらなる発展が期待されます。